

浜松版アーツカウンシル事業について（案）

1. 要 旨

浜松版アーツカウンシルとしての中間支援組織を設置することにより、市民が主体となった文化活動の活性化を図るとともに、文化芸術がもたらす効果をまちづくり、観光振興、教育、福祉等に波及させ、文化活動の経済的自立、創造産業の振興及び地域課題解決に向けた活用を目指す。

中間支援組織を設置することで文化活動の活性化を図るとともに、文化芸術を観光振興、教育、福祉等に波及させることで、文化活動の経済的自立及び地域課題解決に向けた活用を目指す。

※アーツカウンシルとは高い専門性を持つスタッフが、芸術文化の振興を目的に、各種芸術文化に対する助成等の支援を行う機関のこと。

2. 事業内容

市民主体の文化活動を活性化させる核となる推進体制を構築する。

(1) 中間支援組織の立ち上げ

①浜松市文化振興財団の役割である中間支援組織としての機能強化にむけて、財団内の組織として整備する。

②専門人材としてのプログラムディレクター及びプログラムオフィサーを登用し、事業に向けて検討を進める。

(2) 支援対象団体の基礎調査及び現状分析

①市が支援基準及び支援内容を策定するための、現状の支援対象団体の基礎調査及び支援対象団体の現状分析等課題に対する調査を実施する。

(3) 助成事業の企画検討

①市民が主体となって展開する創造的活動や文化芸術活動を支援する助成事業を検討する。

(4) 自主事業の企画検討

①2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化プログラムを見据えた、本市に相応しい文化事業の展開に向けた実施計画の立案。

3. 浜松版アーツカウンシルの人員体制

職種	業務内容	採用方法	人数※
プログラムディレクター（PD）	浜松版アーツカウンシルの運営統括	公募 （書類、面接等 で選考）	1名
プログラムオフィサー（PO）	アーツカウンシル事業の実施 （助成・自主事業の検討、調査研究等）		若干名

※人数は予定数。

4. 設置スケジュール

5月上旬 PD・PO 公募開始

6月中旬 PD選考、内定

7月上旬 PD 業務開始

7月下旬 PO 選考、内定

9月上旬 PO 業務開始

5. 推進体制のイメージ

